

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24364報)

2023年1月11日 8時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>本日、構内の協力企業棟において、体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、8時28分、救急車を要請しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生時刻 7時45分頃 ・発生場所 発電所構内(協力企業棟) ・体調不良者の所属 協力企業作業員 ・身体汚染の有無 なし ・発生状況 作業開始前に体調不良を訴えた(意識有り) <p>【公表区分：E】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考: この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24365報)

2023年 1月 11日 9時 30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第24364報でお知らせした、構内の協力企業棟における体調不良者の発生について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>当該体調不良者は、救急車でふたば医療センターに到着しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ER退出時刻 8時46分 ・ 出発時刻 9時00分 ・ 到着時刻 9時15分 <p>【公表区分：E続】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24366報)

2023年 1月 11日 15時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [1月11日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 1月10日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 1月10日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 1月6日、1月10日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 12月28日、1月10日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクD、地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、1月12日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 1月7日] ・地下水バイパス一時貯留タンク水 排水前分析結果 [採取日 1月7日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
2023年1月11日 11:00現在

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 4.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.6 m ³ /h	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 2.1 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69H1): 15.8 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.7 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.3 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 24.9 °C RPV 温度 (TE-2-3-69R): 24.0 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 19.1 °C RPV 底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 18.2 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 15.3 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.2 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 25.4 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 25.3 °C	PCV 温度 (TE-16-002): 16.9 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 18.2 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.30 kPa.g	3.81 kPa.g	0.45 kPa.g	
窒素吸入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.66 Nm ³ /h (JP-A): 15.61 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 6.68 Nm ³ /h RPV-B: 6.59 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 8.48 Nm ³ /h RPV-B: 7.87 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.2 m ³ /h	14.47 Nm ³ /h	29.31 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.10 vol% B系: 0.10 vol%	A系: 0.14 vol% B系: 0.13 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 Xa135i ※2	A系: 指示値 8.27E-04 Bq/cm ³ 検出限界値 4.87E-04 B系: 指示値 1.22E-03 Bq/cm ³ 検出限界値 3.45E-04	A系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01 B系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND Bq/cm ³ 検出限界値 1.9E-01	
使用可燃燃料プール 水温度	22.6 °C	21.8 °C	※5	※6
FPC 燃料プールの 水位	3.67 m	2.33 m	4.38 m	366 X100mm

※1: 原子炉格納容器の排気流量は、(水素濃度の検出限界)を、計装機器によりマイナス表示される場合があります。

※2: 原子炉格納容器の放射能濃度は、原子炉格納容器の排気流量を基準として算出される。

※3: 原子炉格納容器の放射能濃度は、原子炉格納容器の排気流量を基準として算出される。

※4: 窒素吸入流量は、圧力制御装置の排気流量を基準として算出される。

※5: 主回路の放射能濃度は、放射能濃度計の測定値を基準として算出される。

【重要事項】
各計装機器については、地震やその他の異常事態の発生を防止し、測定の信頼性を確保するために、測定の信頼性を確保するための対策が実施されています。このため、計装機器の精度が低下する場合があります。また、測定の信頼性を確保するために、計装機器の精度を定期的に確認する必要があります。

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/01/10 06:47	< 4.6E+00	< 4.8E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋北東	2023/01/10 07:25	< 4.2E+00	< 5.0E+00	< 4.0E+00
プロセス主建屋南東	2023/01/10 07:30	< 4.6E+00	< 5.6E+00	< 4.8E+00
雑固廃棄物減容処理建屋南	2023/01/10 07:45	< 3.9E+00	< 3.6E+00	< 4.0E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2023/01/10 07:40	< 6.2E+00	< 4.8E+00	4.6E+01
雑固廃棄物減容処理建屋北	2023/01/10 07:50	< 4.3E+00	< 4.6E+00	< 4.7E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/01/10 07:35	< 4.2E+00	< 4.1E+00	< 5.2E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E+0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/01/10 07:17	< 3.5E+00	< 4.5E-01	2.3E+00
物揚場排水路	2023/01/10 07:25	< 3.5E+00	< 5.7E-01	6.3E-01
K排水路	2023/01/10 06:00	6.4E+00	< 6.5E-01	3.8E+00
BC排水路	2023/01/10 06:00	< 3.5E+00	< 5.0E-01	< 7.2E-01
D排水路	2023/01/10 07:20	< 3.5E+00	< 6.8E-01	< 6.2E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は30 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

観測地点	検出日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	分析項目 その他の観測項目					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Y-90 (Bq/L)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	2023/01/06 07:04	1.8E+04	2.6E+04	< 3.7E-01	< 3.3E-01	< 2.3E+00	< 9.5E-01	< 3.4E-01	9.4E-01	-	
No.1-6	2023/01/06 06:56	1.4E+06	1.4E+03	< 6.2E+01	5.8E+01	< 2.3E+03	< 1.3E+03	9.4E+03	3.9E+03	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 ^{※1}	2023/01/06 07:31	5.1E+01	4.9E+02	-	-	-	-	-	-	6.7E+01	
No.1-11	2023/01/06 07:26	1.4E+02	7.0E+02	< 3.0E-01	< 2.9E-01	< 2.3E+00	< 8.4E-01	< 2.7E-01	2.7E+00	-	
No.1-12	2023/01/06 07:21	4.5E+02	2.0E+04	< 1.1E+00	< 1.3E+00	< 1.3E+01	< 6.7E+00	3.0E+00	1.5E+02	-	
No.1-14	2023/01/06 06:51	2.4E+04	3.0E+03	< 5.1E-01	< 5.0E-01	< 5.3E+00	< 2.2E+00	7.8E-01	3.1E+01	-	
No.1-16	2023/01/06 07:11	6.0E+04	< 1.1E+02	< 3.7E-01	< 4.6E-01	< 5.2E+00	< 2.0E+00	1.5E+00	5.4E+01	-	
No.1-17	2023/01/06 07:00	1.0E+05	1.5E+03	< 3.5E-01	< 2.9E-01	< 3.5E+00	< 1.6E+00	< 4.7E-01	1.1E+00	-	

・検出限の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5.3年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

・O.L.E±0.0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることをご注意。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み、

・H-3以外の項目にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、検出限による検出であるため、Y値は検出せず。全βは参考値としての数値に記す。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1.2号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 *2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2023/01/06 07:36	6.3E+02	2.0E+03	< 3.2E-01	< 3.8E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.6E-01	1.2E+00	-	-	-	-	-
No.2-7	2023/01/06 07:41	3.9E+02	1.5E+03	< 2.2E-01	< 2.6E-01	< 2.3E+00	< 9.9E-01	< 2.3E-01	4.7E+00	5.0E+02	-	-	-	-
No.2-8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 *2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.4号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限界の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約30年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検出 (< ; 未満) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.O.E±O.2は、 0.0×10^0 であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は 3.1×10^{-1} で3.1、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外は塩に希釈せず。

※2 No.2-5、No.3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず、全βは参考値としての算出に測定。

7/12

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所環境安全推進センター

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	54 (Bq/L)	60 (Bq/L)	106 (Bq/L)	125 (Bq/L)	134 (Bq/L)	137 (Bq/L)	
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2023/01/10 07:41	1.7E+04	< 3.0E-01	< 3.1E-01	< 2.7E+08	< 1.1E+00	< 3.6E-01	3.9E+00	-
No.1-6	2023/01/10 07:12	1.5E+06	< 9.0E+01	< 6.0E+01	< 3.0E+03	< 2.4E+03	1.1E+04	4.4E+05	-
No.1-8	2023/01/10 08:05	1.1E+04	< 1.5E+00	< 1.6E+00	< 2.6E+01	< 1.2E+01	9.5E+00	4.4E+02	-
No.1-9 #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	2023/01/10 08:12	1.3E+03	< 2.5E-01	< 2.9E-01	< 2.6E+00	< 9.4E-01	< 2.9E-01	6.1E+00	-
No.1-12	2023/01/10 07:35	4.4E+02	< 7.7E-01	< 8.8E-01	< 1.3E+01	< 7.0E+00	7.3E+00	2.6E+02	-
No.1-14	2023/01/10 07:03	2.4E+04	< 5.6E-01	< 4.7E-01	< 5.0E+00	< 2.3E+00	< 7.9E-01	3.4E+01	-
No.1-16	2023/01/10 07:30	5.9E+04	< 4.3E-01	< 3.7E-01	< 4.3E+00	< 2.1E+00	1.2E+00	4.8E+01	-
No.1-17	2023/01/10 07:46	8.6E+04	< 3.6E-01	< 3.8E-01	< 4.2E+00	< 1.8E+00	< 4.8E-01	1.3E+00	-

・採取時の半減期：Mn-54(約5年)、Co-60(約5年)、Ru-106(約37年)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (<:小文字) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E+0とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 No.1-9は、検出器による検出のため、Y測定は実施せず。各Yは参考値としての値に準じます。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他の観測項目					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)			
1,2号機ウエルポイント 汲み上げ水	2023/01/10 08:00	1.5E+05	< 7.1E-01	< 3.8E-01	< 8.4E+00	< 2.8E+00	< 8.4E-01	< 8.4E-01	6.1E+00	-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号機改修ウエル 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号機改修ウエル 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検査時の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-90(約49年)、Sr-90(約49年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不検号 (<)：小検号は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.E.とは、 $O \times 10^0$ であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。
 ※1 No.2-5、No.3-5は、採水器による誤差であるため、γ測定は実施せず、全βは参考値として遅後に測定。

2023年1月11日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内,放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/12/28 07:45	—	—	< 9.7E-01	< 8.2E-01
1F 6号機取水口前	2022/12/28 07:35	< 1.4E+01	—	< 3.1E-01	< 3.1E-01
1F 物揚場前	2022/12/28 07:30	1.6E+01	—	< 3.1E-01	< 3.6E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/12/28 07:10	< 1.4E+01	—	< 2.7E-01	< 3.8E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/12/28 07:05	< 1.4E+01	—	< 3.6E-01	2.7E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※ (注)	2022/12/28 07:25	1.1E+01	< 3.1E-01	< 6.5E-01	< 7.9E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/12/28 06:56	< 1.3E+01	—	< 2.4E-01	< 2.4E-01
1F 港湾中央	2022/12/28 06:50	< 1.3E+01	—	< 3.2E-01	< 3.5E-01
1F 港湾内東側	2022/12/28 06:53	< 1.5E+01	—	< 2.9E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内西側	2022/12/28 06:48	< 1.5E+01	—	< 3.6E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内北側	2022/12/28 06:45	< 1.5E+01	—	< 2.9E-01	4.6E-01
1F 港湾内南側	2022/12/28 06:59	< 1.5E+01	—	< 3.2E-01	< 3.0E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。
- ※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標
- ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>
- ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。
- (注)地下水(バイパス排水)の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。
- (2014年10月19日以降)

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/01/10 07:58	—	< 5.1E-01	< 7.9E-01
1F 6号機取水口前	2023/01/10 07:47	< 1.3E+01	< 2.7E-01	< 3.7E-01
1F 物揚場前	2023/01/10 07:12	< 1.3E+01	< 3.2E-01	< 3.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/01/10 07:07	< 1.3E+01	< 3.2E-01	9.7E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (滷水壁前)	2023/01/10 07:03	< 1.3E+01	< 3.1E-01	2.3E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/01/10 09:05	1.5E+01	< 6.5E-01	< 8.5E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/01/10 06:54	< 1.3E+01	< 3.1E-01	< 2.7E-01
1F 港湾中央	2023/01/10 06:48	1.6E+01	< 2.5E-01	< 2.8E-01
1F 港湾内東側	2023/01/10 06:51	< 1.2E+01	< 2.4E-01	< 2.7E-01
1F 港湾内西側	2023/01/10 06:46	1.6E+01	< 3.0E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内北側	2023/01/10 06:43	< 1.2E+01	< 2.5E-01	< 3.6E-01
1F 港湾内南側	2023/01/10 06:57	< 1.2E+01	< 3.3E-01	< 2.7E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
- ※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標
- ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>
- ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サブドレンタンク)	D 2023/01/07 06:43	880	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 1.6E+00	7.6E+02	< 6.3E-01	< 6.5E-01	< 6.5E-01	検出なし
				< 3.4E-01	7.8E+02	< 6.7E-01	< 4.1E-01	< 4.1E-01	検出なし
				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	9.0E+01	
					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値 [1Bq/L未満]を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下水バイパス一時貯留タンク水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
地下水バイパス 一時貯留タンク	2023/01/07 08:18	2,440	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 5.9E-01	5.7E+01	< 5.7E-01	< 7.3E-01		検出なし
				< 3.5E-01	5.6E+01	< 6.9E-01	< 5.2E-01		検出なし
	運用目標			5.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00		検出されないこと※2
	告示濃度限度※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
	WHO飲料水質ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E+0とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと。(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄「周辺監視区域外の水中の濃度限度」本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載)

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24367報)

2023年1月11日15時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第2.5条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第2.5条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第2.1条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 1月9日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分: その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2023年1月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	7.2E+03	< 1.0E+02	1.7E+02	6.0E+03
	下流側	2.5E+03	4.4E+02	1.9E+01	7.8E+02
2号機放水路立坑水	上流側	1.3E+03	< 1.0E+02	2.2E+01	9.0E+02
	下流側	9.5E+01	< 1.0E+02	< 6.4E+00	2.2E+01

・核種毎の半減期: H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは, 〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。